

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL0561-51-2878

2007年に着工した東京駅丸の内駅舎保存修復工事が完成。創建当時の荘厳な佇まいを見せている。大正3年に開業した東京駅は関東大震災には耐えたものの、第2次世界大戦で屋根と3階部分を焼失。復興工事は、南北の1階部分（八角形の屋根）と姿を変えろ階建ての駅舎は2階建ての駅舎として完成した。

辰野金吾が大正の東京駅がよみがえる。大正の東京駅がよみがえる。大正の東京駅がよみがえる。



東京駅
南口1階部分と南口2階部分の工事の目的は、駅舎を解体して建て直すのではなく、1階部分の外壁を主要部分は保存し、焼失した部分を復原することだった。



トーム内部は日本趣味で、リフに千支花飾りといつた日本約口のモナリヤを、千支は2支のうら方角表示8支が描かれてる。



平成24年10月9日、何十年振りに出陣のろくろ時間に乗車東京駅へ。感動の瞬間でした。



「三角煉瓦と彫り込みの『復元地』を再現して、東京駅中央部をほぼ復元された。角が立った。